

第456回 6月定例会(5月26日～6月19日:25日間)

ここが聞きたい！ 一般質問

一般質問とは？

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に対して考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。

ページ	質問者	質問内容	日程
P.6	かえりやま あきお 帰山 明 朗	1. ナフサ不足に伴う本市への影響と緊急対策について ／ 2. 部活動での遠征時の移動安全確保などについて	6/8 午前
P.7	かとう まさる 加 藤 優	1. 「健康いきいきプラン」における健康づくり計画の進捗と今後の強化について／2. 防災危機管理の実効性と持続可能性について／ 3. 子ども見守り隊の現状と見守りサービス導入について	6/8 午後
	はやしした とよひこ 林 下 豊 彦	1. 自転車運転の法律改正について ／ 2. 資源ごみ回収について ／3. 防犯カメラの設置について／4. 鯖江クリーンセンターの焼却施設由来の環境価値の活用について	
P.8	さかい ゆきこ 酒井 友季子	1. 産前の支援について／ 2. 産後の支援について ／ 3. 産前産後の支援について	6/9 午前
	ふくはら としひろ 福 原 敏 弘	1. 水道事業について ／2. 教育振興について	
	えんどう たかし 遠 藤 隆	1. 複合災害について	
P.9	だいもん よしかず 大 門 嘉 和	1. 郷陽会館の建築工事入札について ／2. さばえレッサーパンダ魅力発信プロジェクトについて	6/9 午後
	みむら しょうじ 三 村 尚 司	1. 中東情勢の緊迫化による本市への影響について ／ 2. 神明地区の地域資源を生かしたまちづくりについて ／3. 地域防災向上に向けた取組について	
	ほりかわ ひでき 堀 川 秀 樹	1. 防災気象情報について ／ 2. 児童生徒への熊対策	
P.10	きむら あいこ 木 村 愛 子	1. 環境政策について／2. 婚活支援／3. 人口減少と中山間地の過疎対策について／ 4. 教育・文化	6/10 午前
	とうい ただよし 東 井 忠 義	1. 市の不適切な行為について ／2. 公務員の刑事告発義務等について／3. 終活の支援について	
	そら よしひで 空 美 英	1. 神明苑の現状と今後の在り方について ／ 2. ヤングケアラーについて	
P.11	にしの ゆ か 西 野 有 香	1. スクールロイヤー制度と学校問題解決支援チームについて／2. 離婚後共同親権制度の施行と本市への影響・対応、養育費の確保について／ 3. 独り暮らし高齢者等への家庭ごみの戸別収集支援制度の導入について	6/10 午後
	つちだ ひかる 土 田 光	1. ヤードについて ／2. 鯖江市の鳥獣害対策について	
P.11	たなか よしゆき 田 中 良 幸	1. 空き家対策について ／ 2. 鯖江駅東口の整備について	

※質問内容のうち青字で下線が引かれたタイトルは、以下に詳細を掲載しています。



ナフサ不足への対応と部活動における安全確保について問う

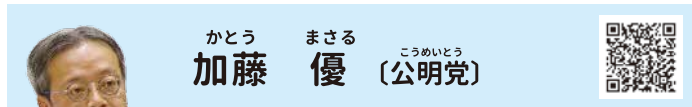
問 中東情勢の緊迫化に伴うナフサ不足は、市民生活や眼鏡・漆器業などをはじめ市内の様々な産業、そして公共施設整備に大きな影響を及ぼす可能性がある。本市の現状認識と対応について伺う。

答 指定ごみ袋について十分な在庫が確保されており供給は安定している。万一不足が生じた場合には市販の透明・半透明袋の使用を認めるなどの代替措置を準備している。また、市内事業者への調査では約9割が原材料高騰や調達遅延などの影響を受けており、制度融資の拡充や利子補給、生産性向上設備導入支援などを実施している。

答 市長 ナフサ不足は燃料や資材、物流コストなど幅広い分野に影響し、ものづくり産業を支える鯖江市にとって重要課題だ。企業訪問や商工団体との連携により情報収集を進め、国や県へ地域の実情を伝えながら必要な支援策の充実を働きかけていく。

問 新潟県で発生した部活動遠征中のバス事故を受け、本市の学校部活動および地域クラブ活動における移動時の安全確保について伺う。

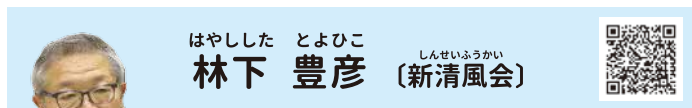
答 学校部活動では、旅客運送事業の許可を受けたバス会社による運行を徹底しており、いわゆる白バス利用は行っていない。地域クラブ活動についても学校部活動に準じた安全管理体制を基本とし、バス利用時は適正な事業者へ委託するとともに、スポーツ安全保険や賠償責任保険への加入により事故発生時に備えている。今後も安心して活動できる環境づくりに努める。



見守りサービスシステム導入について

問 子ども見守り隊の現状と課題は。

答 本市の見守り隊は、学校、PTA、町内会などが主体となって自主的に運営されている。現状、隊員数は、令和5年度の669名から、令和7年度には658名と少し減少はしているが、見守り体制は一定の水準を保ちながら継続されている。一方で、担い手である隊員の高齢化が課題であると認識している。こうした現状を踏まえ、関係団体と連携しながら、活動しやすい環境の整備に努めており、子どもたちを様々な危険から守る取組の一層の充実に努めていく。



資源ごみ回収について

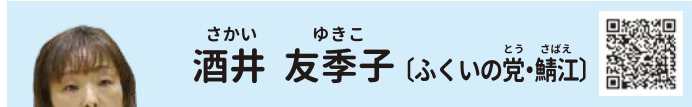
問 撮影したごみの画像を基に、AIが本市の分別区分を判定するAIごみ分別アプリを導入して、ごみの分別の適正化と市民の皆様の利便性向上を図るというが、いつから導入するのか。

答 本格的な運用は9月からを予定している。

問 ごみの分別区分が分かってても、今度は回収ボックス自体の違いが分かりづらい問題があるがどう考えているか。

答 回収ボックスの色分けや表示ラベルの工夫など、視覚的に理解しやすい表示への改善を検討している。

意見 現場を見て早急に対応することを要望する。



産前産後ケアについて

問 訪問型産後ケアの利用を鯖江市が現在、産後6か月未満に限定している理由は。福井市や坂井市と同じように産後1年未満に延ばさないのか。

答 産後間がない時期に重点的に対応するため、現在は産後6か月未満に限定しているが、事業開始3年目に当たり、産後7か月以降の授乳から離乳への支援の必要性などを感じている。切れ目のない支援体制が重要であるため、令和9年度から訪問型産後ケアの利用を産後1年以内に拡大する準備を進める。

問 子ども見守りサービスシステム導入の考えは。

答 本市では、子どもたちが自らの身を守る体制づくりとして、福井エフエム放送株式会社様から寄贈いただいた防犯ブザーを毎年新小学1年生に配布している。また、関係機関と連携し、通学路に非常通報装置、通称「おたすけばたん」が設置されている市内小学校で、実際にボタンを操作するとともに、防犯ブザーの活用や大声で助けを求める行動など、緊急時を想定した実践的な安全指導を行っている。登下校時の安全確保は一定程度図られているものと考えている。現時点では全児童を対象とした一斉導入を行う考えはない。

意見 万が一を起こさないためにも、子どもの安全対策を二重三重に構築していくのが大人の責務。今後も重ねて要求していきたい。

自転車運転の法律改正について

問 自転車に対する新しい交通ルールが大変分かりづらいが、一般市民の方々に対しては、どのように周知徹底することを考えているのか。

答 地域のサロンや団体への出前講座などで、鯖江警察署など関係機関と連携して、特に重要で誤解の多いポイントに絞った啓発をする。

意見 自転車は歩道を通ってはいけないなどという間違った認識の市民も多い。周知徹底にしっかりと取り組んで欲しい。



自転車通行可の標識

問 多胎加算について、鯖江市はチラシやホームページに記載がないが市の状況は。記載するべきでは。

答 多胎加算が必要な場合は市が負担している。利用者から追加の負担はいただいていない。今後は記載内容を見直し、分かりやすい情報発信に努める。

問 産後の保育継続の違いについて、福井市は満1歳、越前市は6か月まで利用可能だが、なぜ鯖江市は産後2か月なのか。十分な支援と考えるか。

答 通常入園を希望される方の受入れを図る必要もあることから、市では産後2か月としている。母親の就労状況にかかわらず、2か月を過ぎても育児不安や体調不良など個別の事由による期間延長も行うなど、現行の制度の中でも必要な支援はできていると認識している。

意見 産前から産後までを通して、他市に負けないような支援の充実を今後も求める。